
日本経済展望

2018年6月

 株式会社 **日本総合研究所**

調査部 マクロ経済研究センター

<http://www.jri.co.jp/report/medium/publication/japan>

目次

◆現状	p. 1
◆景気分析	p. 3
◆トピックス	p. 7
◆見通し	
経済	p. 8
物価、金融政策、金利	p. 9
◆内外市場データ	p. 10

調査部 マクロ経済研究センター（国内経済グループ）

総括	安井 洋輔	(Tel: 03-6833-6334 Mail: yasui.yosuke@jri.co.jp)
ファンダメンタルズ	村瀬 拓人	(Tel: 03-6833-6096 Mail: murase.takuto@jri.co.jp)
外需	石田 宏一	(Tel: 03-6833-2806 Mail: ishida.koichi@jri.co.jp)
企業部門	菊地 秀朗	(Tel: 03-6833-6228 Mail: kikuchi.hideaki@jri.co.jp)
家計部門、雇用賃金	佐藤 貴憲	(Tel: 03-6833-1694 Mail: sato.takanori@jri.co.jp)
トピックス	村瀬 拓人	
金利	石田 宏一	
ファンダメンタルズ（現状分析）	浅野 洋介	(Tel: 03-6833-6947 Mail: asano.tP31756@jri.co.jp)

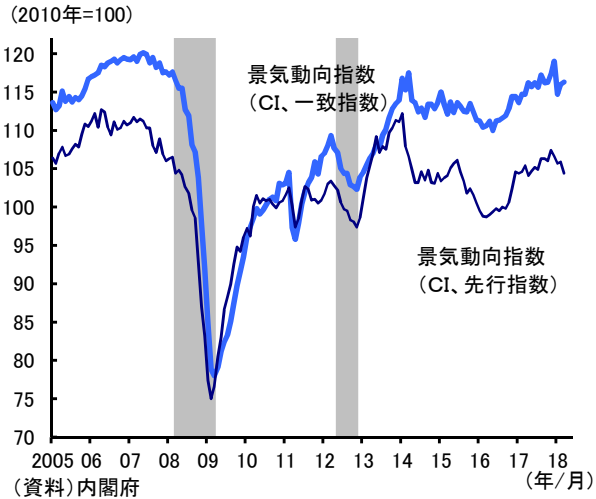
本資料は2018年6月4日時点で利用可能な情報をもとに作成しています。

本資料は、情報提供を目的に作成されたものであり、何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。本資料は、作成日時点で弊社が一般に信頼出来ると思われる資料に基づいて作成されたものですが、情報の正確性・完全性を保証するものではありません。また、情報の内容は、経済情勢等の変化により変更されることがありますので、ご了承ください。

概況：景気は回復基調が持続

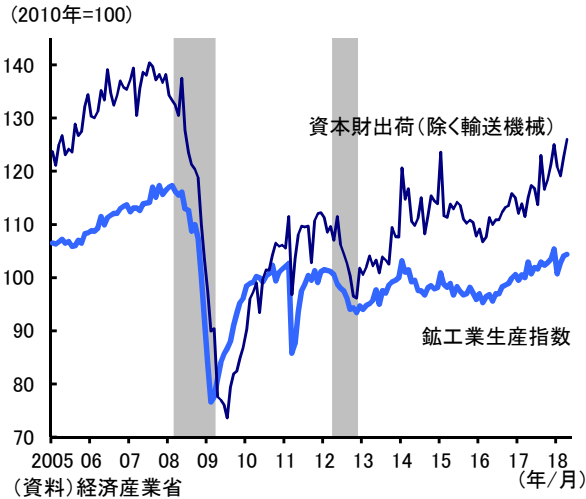
景気

一致指数は、生産や出荷の回復を背景に、2カ月連続の上昇



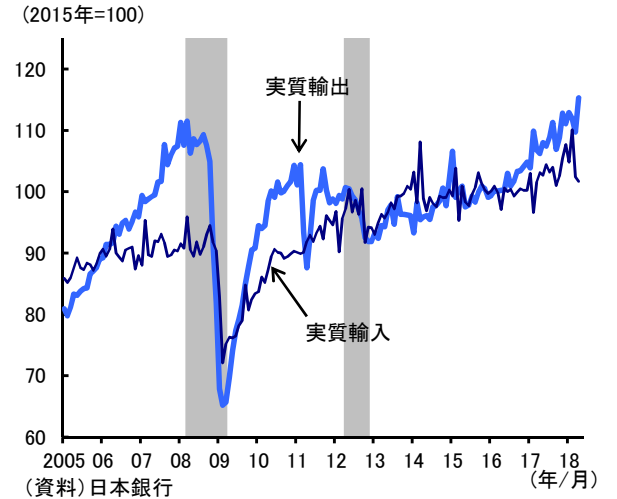
企業

鉱工業生産は電子部品・デバイスの在庫調整により足踏み



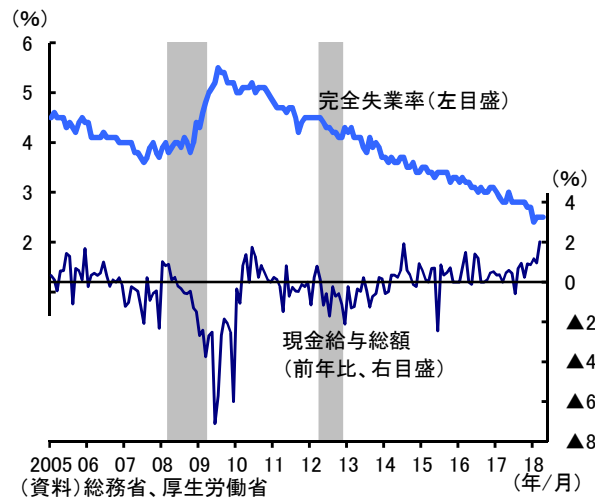
外需

輸出は中国、欧米向けを中心に増勢持続
輸入は増勢が一服



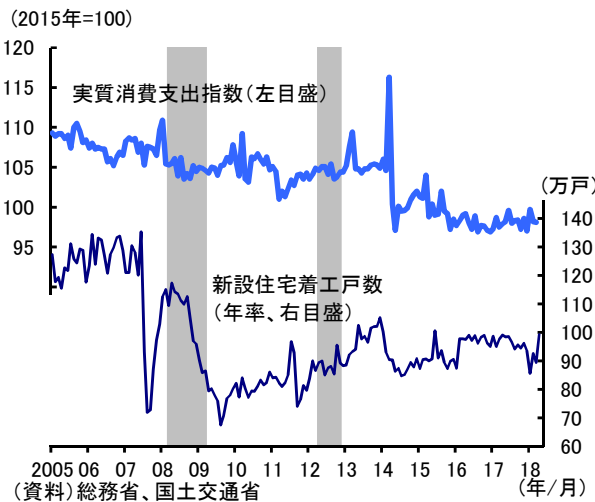
雇用所得

失業率は低水準で推移
名目賃金の伸びは加速



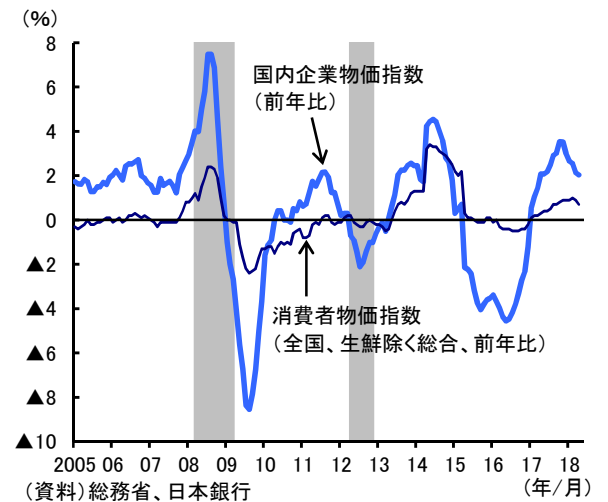
家計

実質消費は一進一退の動き
住宅着工は分譲住宅が増加



物価

原油価格の上昇一服や円高により、企業物価、消費者物価ともに伸びが鈍化



※シャドー部は景気後退期

企業部門では生産が足踏み

◆景気は回復基調が持続

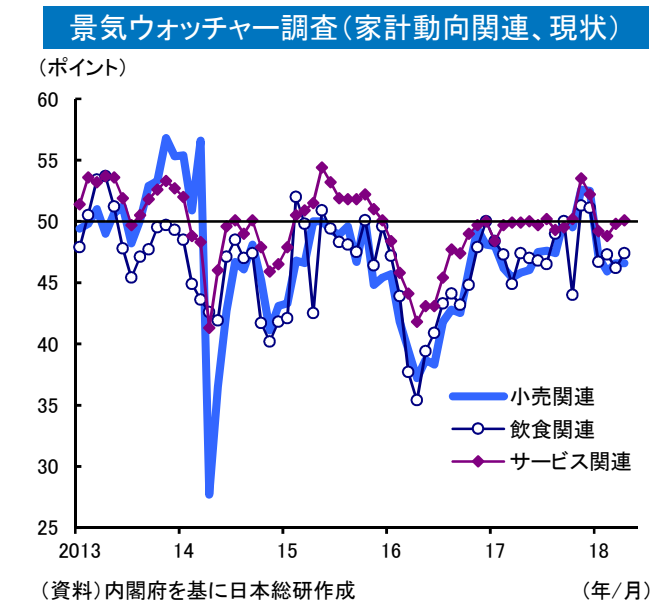
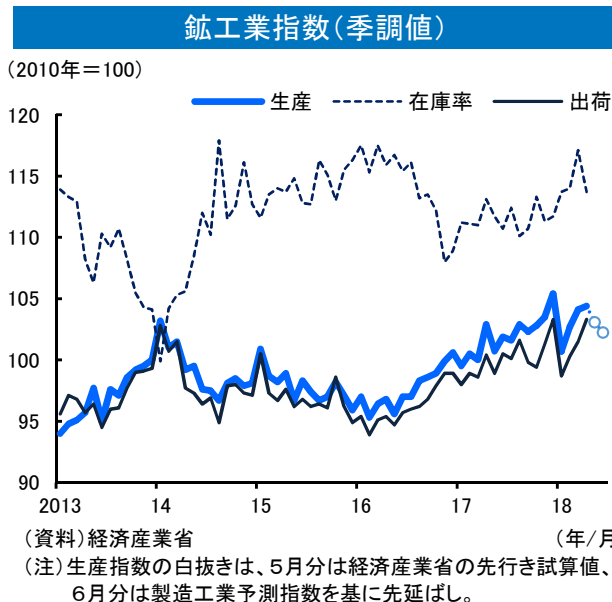
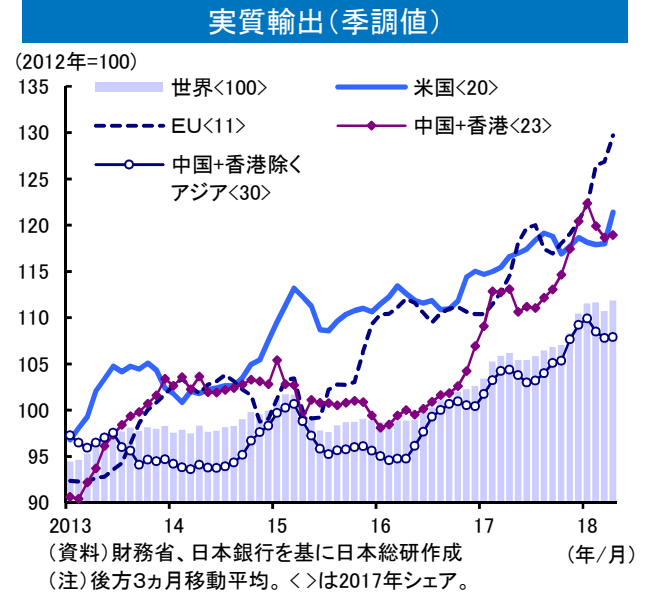
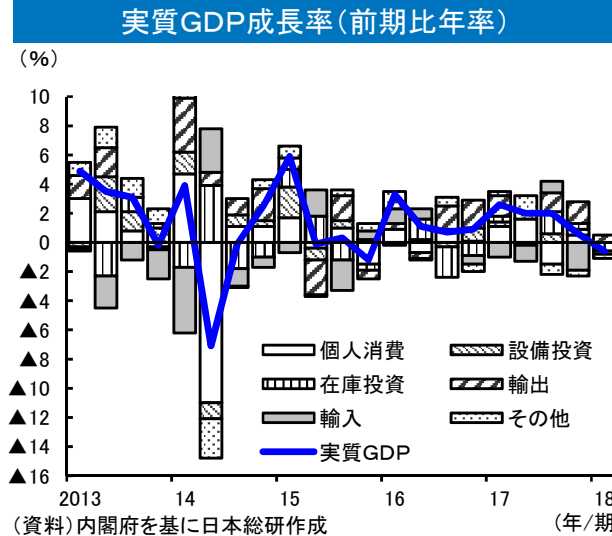
1～3月期の実質GDP（1次速報値）は、前期比年率▲0.6%と9四半期ぶりのマイナス成長。内需では、生鮮食品の価格上昇や、寒波による季節衣料の低迷などを受け、個人消費が鈍化。外需では、インバウンド需要や知財権使用料の受取などサービス輸出が減少したほか、アジア向け電子部品などを中心に財輸出も減少。もっとも、4月以降は輸出などが持ち直していることから、マイナス成長は一時的な動きに終わる見込み。

◆鉱工業生産が足踏み

4月の鉱工業生産指数は、前月比+0.3%と事前予想を下回る小幅上昇。輸送機械やはん用・生産用・業務用機械などで上昇した反面、在庫調整下にある電子部品・デバイスなどで低下。5月の生産予測指数は前月比+0.3%の上昇、6月は同▲0.8%の減少が見込まれており、鉱工業生産は年初から足踏み状態に。

◆家計部門は持ち直し

4月の景気ウォッチャー調査の家計動向関連DIは、好不調の分かれ目を示す50を下回る水準が持続。もっとも、気候の回復や良好な所得環境に支えられて、飲食関連では前月差+1.2ポイント上昇、サービス関連も同+0.3ポイントの小幅上昇となるなど、個人消費に持ち直しの動き。



輸出は緩やかに増加

◆財輸出は緩やかに増加

外需動向をみると、まず、悪天候や円高を背景に訪日外国人消費が横ばいとなったほか、知財権等使用料（受取）などサービス輸出が減少。もっとも、一段の円高進行がなければ訪日外国人消費が再び拡大に向かうほか、海外直接投資の積極姿勢が維持されるなか、知財権等使用料（受取）も持ち直す見込み。

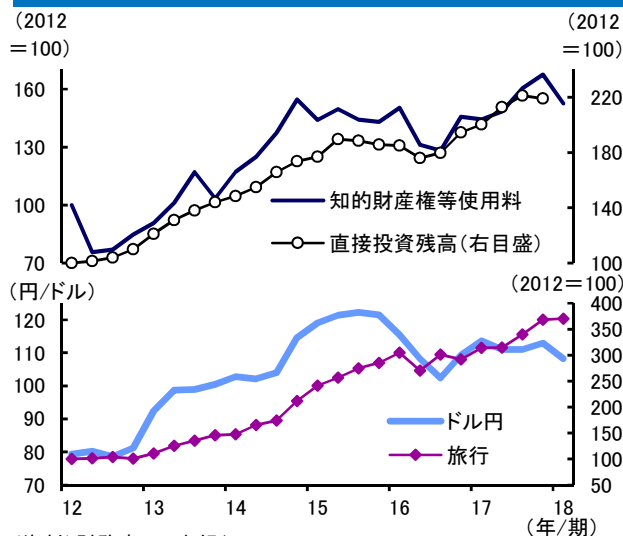
また、財輸出については、新型スマホの売上不振やアジア新興国における内製化の進展から、電子部品・デバイスの増勢が一服したもの、資本財や輸送機械が増加。先行きは、世界的な設備投資需要の拡大やアジア新興国を中心とした製造設備の高度化を背景に、工作機械や半導体製造装置を中心に資本財輸出の増加が続く見通し。

◆米国の通商保護主義が懸念

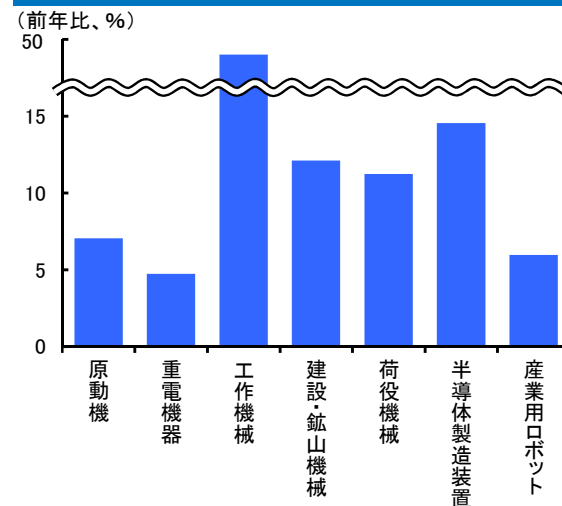
ただし、米国トランプ政権の保護主義への傾斜とそれに端を発する貿易摩擦の激化がリスク。

トランプ政権は、自動車および関連部品の関税を25%に引き上げる措置（現行2.5%）を検討。実現可能性は不透明ながら、実施された場合、直接的な効果としてわが国輸出を約8,000億円下押しする可能性。自動車産業は裾野が広く、部品、素材、商業、運輸業などの関連産業への波及効果を含めれば、2兆円超の生産下押しとなるリスクも。

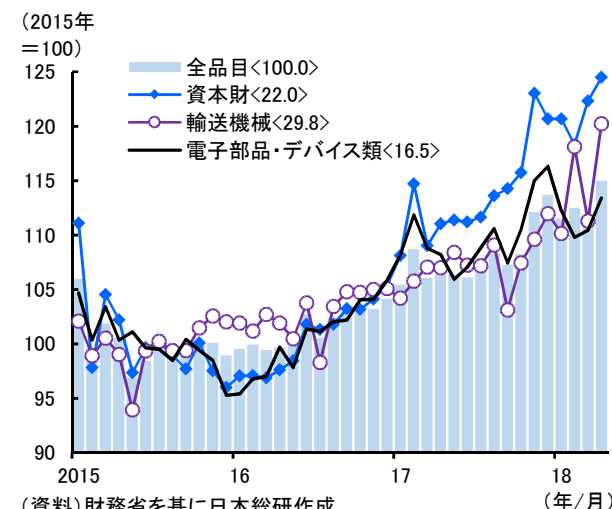
経常収支（サービス受取、季調値）



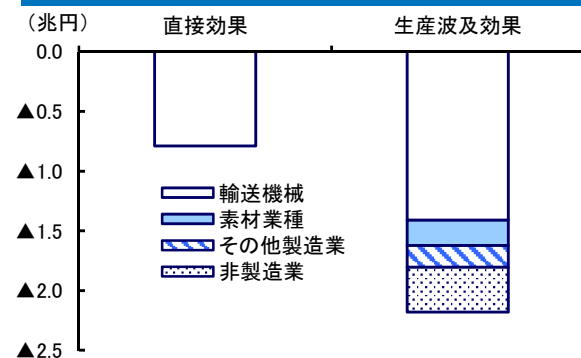
資本財の品目別輸出金額(2018年第1Q)



品目別の実質輸出（季調値）



米国自動車関税引き上げの影響（試算）



企業収益が堅調なか、設備投資は緩やかな増加基調

◆企業収益は堅調

企業収益は堅調が持続。法人企業統計季報によると、1～3月期は3四半期ぶりの増収増益（金融業・保険業除く全産業、季調済前期比）。

人手不足の深刻化を背景とした人件費の増加が収益下押し要因となったものの、内外需が堅調に推移するなか、売上高の拡大が収益改善に寄与。

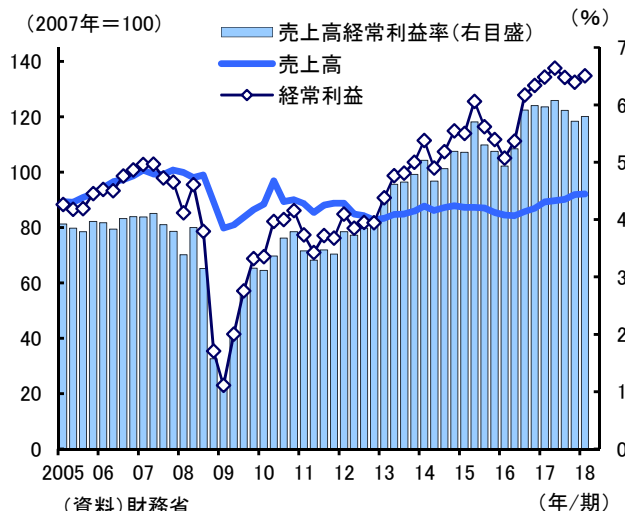
先行きも、損益分岐点比率が大きく低下するなど、企業の収益体質は良好な状況が続く下、企業収益は底堅く推移する見込み。足許の為替水準も、想定レートから大きく乖離していないため、収益下振れ懸念は小。

◆設備投資は緩やかに増加

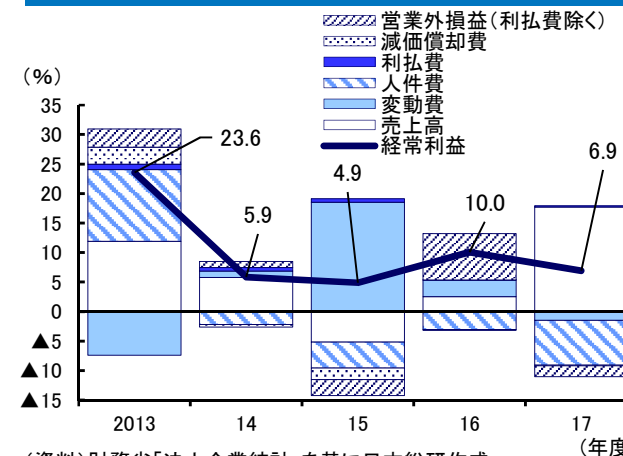
設備投資は、キャッシュフローが潤沢ななか、人手不足を背景とした合理化・省力化投資等を中心に、緩やかな増加基調。1～3月期の機械受注は3四半期連続の増加となったほか、4～6月期も増加の見通し。

もっとも、人口減少下で国内の成長見通しが高まりにくい状況下、収益の改善に比した設備投資の勢いは緩慢。さらに、米中貿易摩擦の激化や、それを受けた円高の進行などで、収益の先行きに対する不安が強まれば、設備投資意欲が減衰するリスクも。

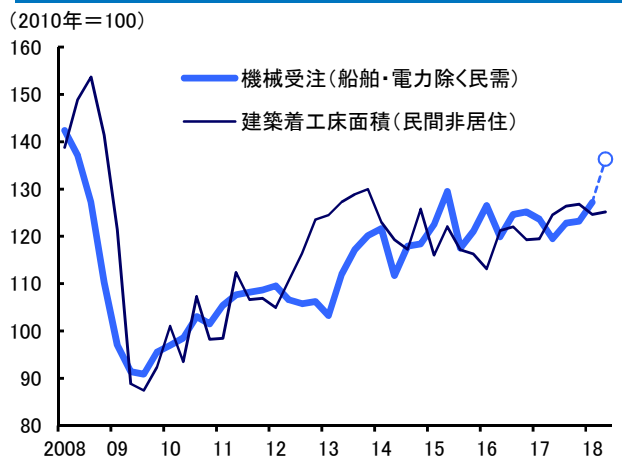
法人企業の売上高と経常利益率（季調値）



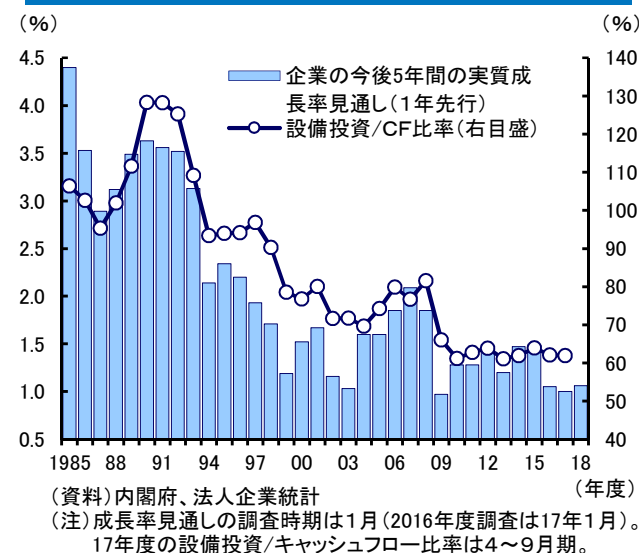
経常利益の要因分解（前年度比）



設備投資先行指標（季調値）



期待成長率と設備投資/キャッシュフロー比率



所得は緩やかに回復

◆改善続く雇用・所得環境

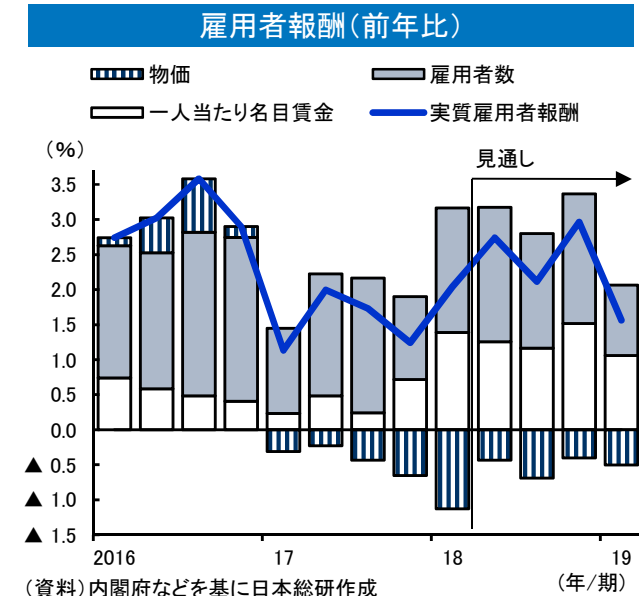
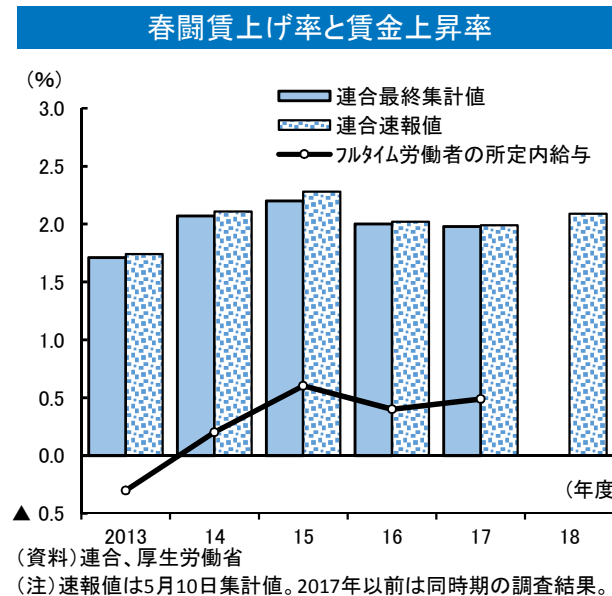
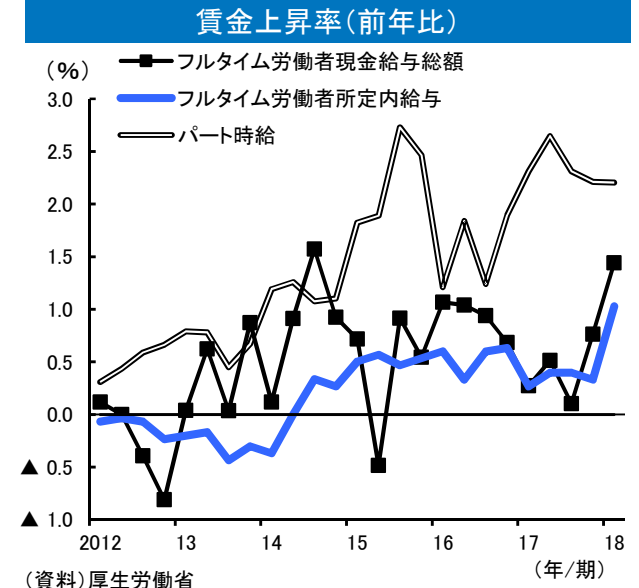
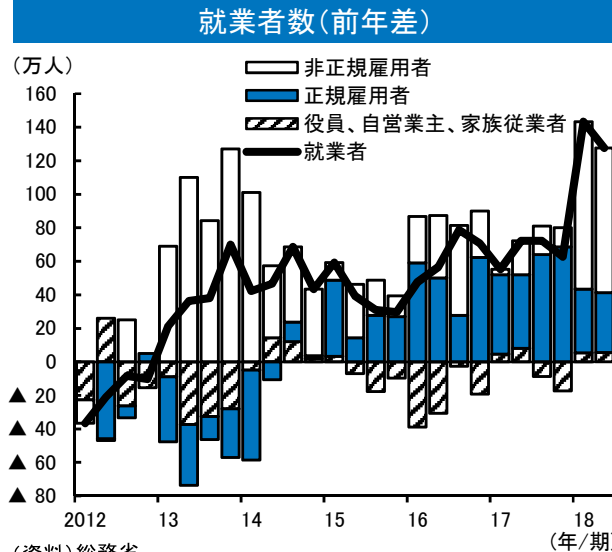
雇用情勢は改善が持続。2018年入り後、若年層（24歳以下）と高齢者（65～69歳）を中心とした非正規雇用の急拡大により、就業者数の増加ペースが加速。とりわけ、宿泊・飲食などサービス業での雇用拡大が顕著。

名目賃金の伸びもここに来て加速。フルタイム労働者における所定内給与の伸びの加速と、好業績を背景とした特別給与の増加が要因。

◆実質所得は堅調に拡大

先行きを展望すると、景気回復を受けて雇用、名目賃金ともに改善が続く見込み。企業の人手不足感は一段と強まっているため、労働需給は引き続き高水準で推移する公算大。今年の春闘賃上げ率がここ数年では高めの水準となったことから、名目賃金も高めの伸びを続ける見通し。

さらに、2018年1～3月期の実質所得を押し下げた物価上昇圧力もピークアウトしており、当面、実質雇用者報酬は前年比2%台の伸びが続くと予想。



個人消費は持ち直しの動き

◆個人消費は持ち直しの動き

1～3月の家計最終消費は、生鮮食品価格の上昇による購買力の低下や、寒波や大雪の影響による買い控えから、財の消費を中心に減少。

もっとも、4月以降は、天候の回復や生鮮食品価格の落ち着きから、個人消費は持ち直しの動き。実際、小売販売をみると、1～3月に落ち込んでいた衣服・身の回り品の売上が増加。また、弱含んでいた消費者マインドも4月を底に改善。

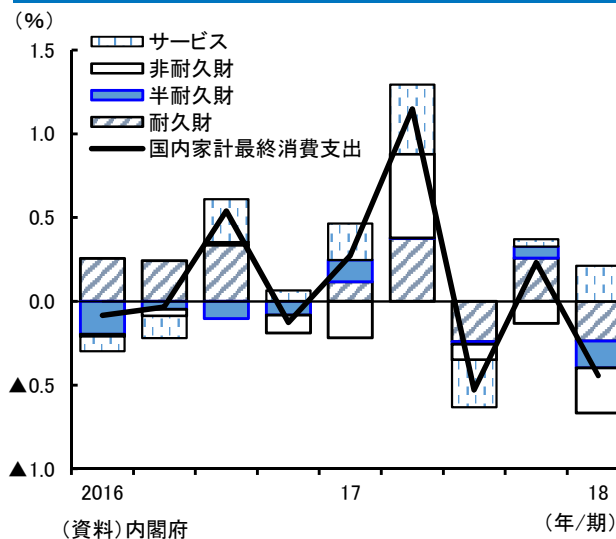
先行きを展望すると、雇用・所得環境の改善により、個人消費は緩やかな持ち直しが続く見通し。

◆住宅投資は弱い動きが持続

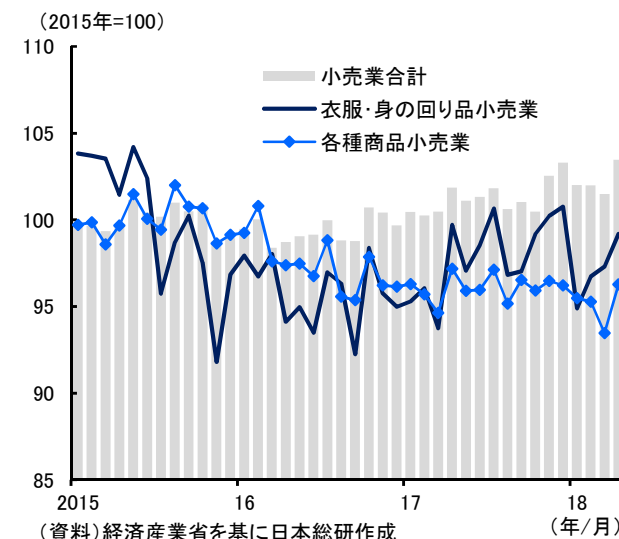
4月の住宅着工戸数は分譲を中心に急増し、年率100万戸近くまで回復。もっとも、年初の大雪に伴う着工控えの反動の可能性もあり、今後の持続性は期待薄。

先行きを展望すると、一時的に増加した分譲住宅の着工水準が下がるうえ、貸家の低迷も続くため住宅着工は基調的には弱い動きが続く見通し。とりわけ、貸家では、一部のサブリース契約の問題化や、空室率の上昇にみられる供給過剰懸念などを背景に、前年割れが続く見込み。実際、個人向けアパートローンの新規貸出額は前年比マイナスが継続。

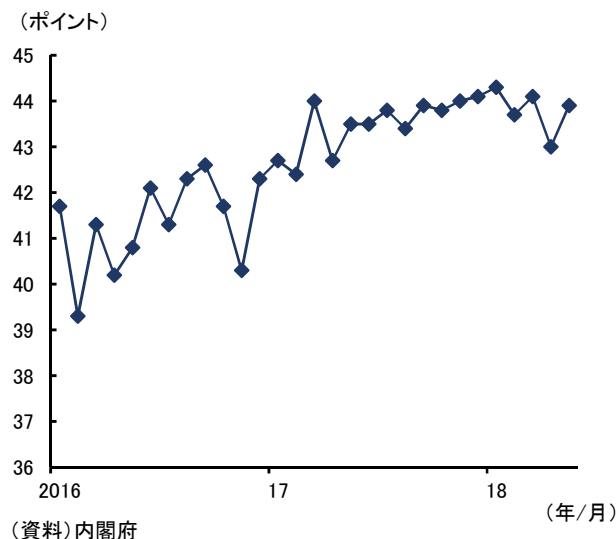
家計最終消費支出品目(前期比)



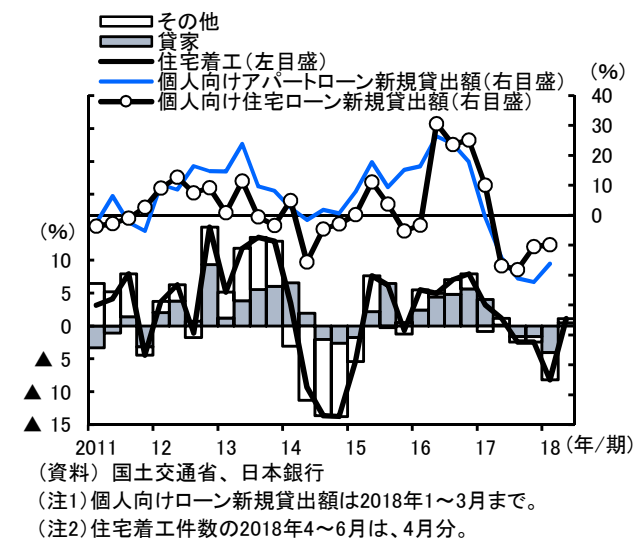
小売業販売額(季調値)



消費者マインド(消費者態度指数)



住宅着工件数と個人向け住宅ローン(前年比)



トピックス：働き方改革が若者層の消費下振れを招く懸念も

◆働き方改革の議論が活発に

今年の春闘では、働き方改革に関連する以下の2点が重要なテーマに。

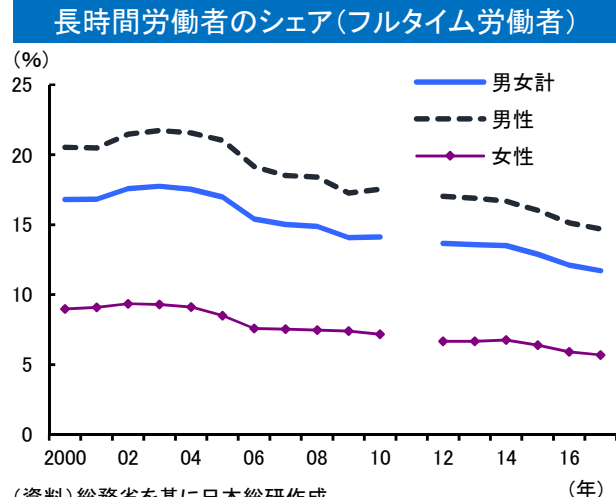
第1に、労働時間の削減。長時間労働者のシェアは趨勢的に低下傾向にあるものの、依然としてフルタイム労働者の10%強が長時間労働を強いられている状況。長時間労働による健康被害が社会問題となるなか、時間外労働の削減に向けた議論が活発に。

第2に、シニア雇用の待遇改善。多くの企業では、定年後も働き続ける場合、再雇用に伴い給与が大幅に減少。人手不足の深刻化を受け高齢者の活用が急務となるなか、賃金体系や労働条件を見直すことで、高齢者の就業意欲を高めようという狙いが背景に。

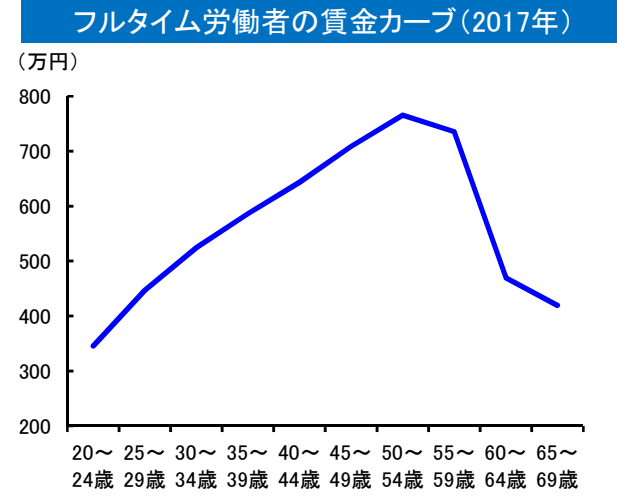
◆若年層の消費にマイナス影響も

これらの改革は、マクロ経済に対してプラスに働くものの、若者の消費活動に悪影響を与える懸念も。まず、労働時間の削減は、残業代の減少を通じて所得水準を押し下げ。20代後半や30代前半の正社員では給与総額に占める残業代のシェアが高いため、残業削減による所得の下振れが大。

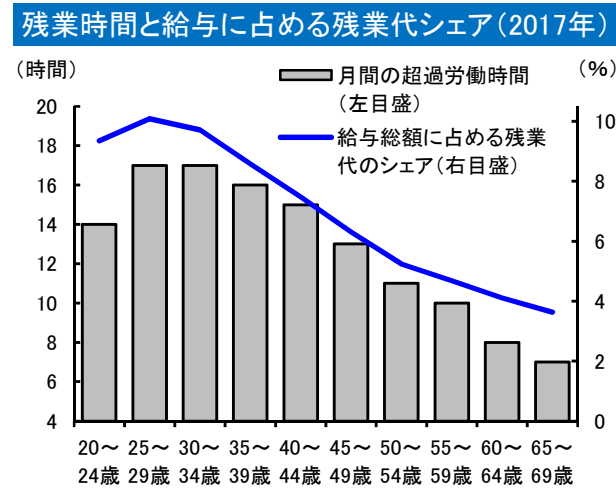
シニア雇用の待遇改善も、企業の人件費抑制姿勢が根強いなかでは、若手や中堅社員の賃金にしわ寄せが及ぶ懸念。実際、産業・企業規模別の賃金上昇率のデータは、高齢者の賃金を大きく引き上げた企業で、相対的に現役世代の賃上げが抑制されている可能性を示唆。



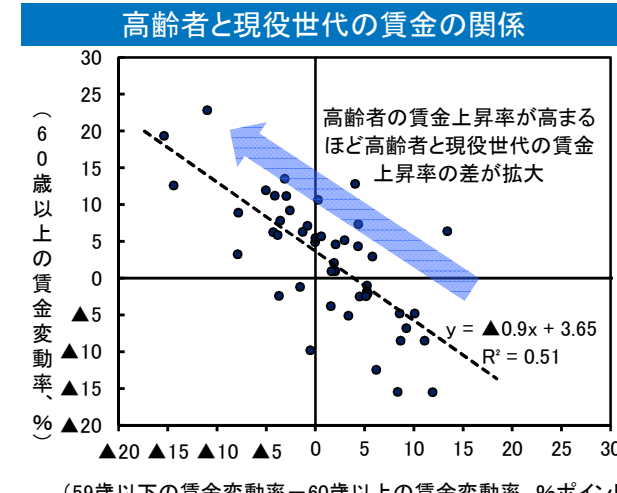
(資料)総務省を基に日本総研作成
(注1)長時間労働者は、週平均労働時間が60時間以上の就業者。
シェアは、週35時間以上をフルタイム労働者とみなし算出。
(注2)2011年は、東日本大震災の影響でデータが欠落。



(資料)厚生労働省を基に日本総研作成
(注)賃金カーブは年収ベース。年収は、6月の定期給与×12+前年1年間の特別給与。企業規模1000人以上。



(資料)厚生労働省を基に日本総研作成
(注)給与総額に占める残業代のシェアは年収ベース(6月の定期給与×12+前年1年間の特別給与)。一般労働者の正社員。



(資料)厚生労働省を基に日本総研作成
(注1)産業(大分類)・企業規模別の賃金データを基に作成。
(注2)賃金変動率は、年収ベース。2012年と2017年の比較。

底堅い内外需を背景に、景気回復が続く見通し

◆潜在成長率を上回る成長が持続

先行きを展望すると、電子部品関連を中心とした在庫調整が生産活動を下押しする見込み。もっとも、海外経済の堅調な成長を背景に、輸出の増加基調が続くとみられるなか、企業の生産活動が腰折れする可能性は小さいと判断。設備投資も、都市部の再開発や物流施設の新設など建設投資が底堅く推移するほか、輸出の増加を受けた製造業の設備投資意欲の改善や、人手不足を背景とした中小企業の省力化投資の活発化もプラスに作用。

一方、家計部門についてみると、製造業を中心に所定内給与の伸びが高まっているほか、正社員の増加などを背景に中低所得者の所得増が明確化するなど、所得環境は着実に改善。足許では、生鮮食品価格の騰勢も一服しており、個人消費は緩やかな増加ペースに復帰する見込み。

結果として、2018年度は、1%程度とみられる潜在成長率を上回る成長が続く見通し。

◆2019年度も1%近い成長を維持

2019年度は、10月に予定されている消費増税に伴う購買力の低下が個人消費を下押しすることで、成長率が鈍化。もっとも、今回は2014年と比べて税率の引き上げ幅が小さいほか、所得税・社会保障関連の負担増も小さいことから、個人消費の大幅な落ち込みは回避される見通し。結果として、1%近い成長は維持できる見込み。

わが国主要経済指標の予測値(2018年6月4日時点)

(四半期は前期比年率、%、%ポイント)

	2017年		2018年				2019年				2020年	(四半期は前期比年率、%、%ポイント)			
	7~9 (実績)	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	2016年度 (実績)	2017年度	2018年度	2019年度
実質GDP	2.0	0.6	▲0.6	1.6	1.6	1.3	1.4	1.4	2.4	▲3.6	1.3	1.2	1.5	1.1	0.9
個人消費	▲2.6	0.9	▲0.0	1.3	1.0	1.0	1.1	1.8	5.2	▲9.1	1.3	0.3	0.8	0.7	0.7
住宅投資	▲6.4	▲10.3	▲8.2	▲6.7	0.7	3.3	6.5	1.9	▲2.4	▲9.8	▲7.2	6.2	▲0.3	▲4.1	▲0.1
設備投資	4.0	2.6	▲0.3	4.1	3.6	3.6	2.8	2.4	2.4	2.3	2.3	1.2	3.0	2.9	2.7
在庫投資 (寄与度)	(1.5)	(0.4)	(▲0.6)	(▲0.1)	(▲0.1)	(0.0)	(0.0)	(▲0.1)	(▲0.5)	(0.3)	(0.3)	(▲0.3)	(0.1)	(0.0)	(▲0.1)
政府消費	0.2	▲0.0	0.1	0.9	0.9	0.9	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.5	0.4	0.6	0.8
公共投資	▲10.0	▲1.5	0.1	3.5	4.2	▲6.9	▲1.5	0.0	1.0	0.5	0.3	0.9	1.5	▲0.1	▲0.6
純輸出 (寄与度)	(2.2)	(▲0.4)	(0.3)	(0.2)	(0.2)	(0.3)	(0.1)	(▲0.0)	(▲0.5)	(1.1)	(0.0)	(0.8)	(0.4)	(0.3)	(0.1)
輸出	8.2	9.2	2.6	3.1	3.2	3.5	3.6	3.6	3.5	2.8	2.8	3.6	6.2	4.1	3.4
輸入	▲5.2	12.9	1.2	1.9	2.0	2.0	3.0	3.9	6.3	▲3.3	2.9	▲0.8	4.0	2.7	2.8

(前年比、%)

名目GDP	2.0	1.9	1.4	0.7	0.6	1.1	2.1	2.2	2.5	1.6	1.7	1.0	1.6	1.1	2.0
GDPデフレーター	0.1	0.1	0.5	▲0.3	▲0.2	0.1	0.6	0.8	0.9	1.2	1.2	▲0.2	0.1	0.1	1.0
消費者物価指数 (除く生鮮)	0.6	0.9	0.8	0.9	1.1	1.0	1.1	0.9	0.8	1.8	1.9	▲0.2	0.7	1.0	1.3
(除く生鮮、消費税)	0.6	0.9	0.8	0.9	1.1	1.0	1.1	0.9	0.8	0.8	0.9	▲0.2	0.7	1.0	0.8
鉱工業生産	3.9	4.6	2.3	2.5	1.3	0.5	1.6	0.9	0.7	0.7	0.5	1.1	4.1	1.4	0.7

完全失業率 (%)	2.8	2.7	2.5	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.3	3.0	2.7	2.4	2.4
経常収支 (兆円)	7.01	4.33	5.81	4.43	6.77	3.87	6.80	4.59	6.84	3.87	6.96	21.02	21.74	21.87	22.26
対名目GDP比 (%)	5.2	3.0	4.3	3.3	5.0	2.7	4.9	3.3	4.9	2.6	4.9	3.9	4.0	3.9	3.9
円ドル相場 (円/ドル)	111	113	108	109	109	110	111	111	110	110	109	108	111	110	110
原油輸入価格 (ドル/バレル)	50	58	67	71	70	68	68	68	68	68	68	47	57	69	68

(資料)内閣府、総務省、経済産業省、財務省などを
基に日本総研作成

(注)2018年6月1日公表の2018年1~3月期2次
QE予測は反映せず。

海外経済の前提

(前年比、%)

	2017年	2018年	2019年
	(実績)	(予測)	
米国	2.3	2.8	2.5
ユーロ圏	2.5	2.1	1.7
中国	6.9	6.8	6.7

過去の実質GDP予測値

(前年比、%)

	2017年度	2018年度	2019年度
	(予測)		
3月号	1.6	1.2	0.9
4月号	1.8	1.2	0.9
5月号	1.8	1.2	0.9

物価は前年比+1%近傍、長期金利はゼロ%近辺で推移

◆物価は横ばい圏内の動き

コアCPI上昇率は、2017年1月に前年比プラスに転じた後、ジリ高傾向が続いていたものの、エネルギー価格の騰勢鈍化を背景に、足許横ばい圏内の動き。

先行きは、雇用・所得環境の改善により、需給面からの上昇圧力は強まるものの、エネルギー価格の騰勢鈍化が響き、コアCPIは日銀の目標を下回る状況が続く見込み。

◆短期金利は現行水準を維持

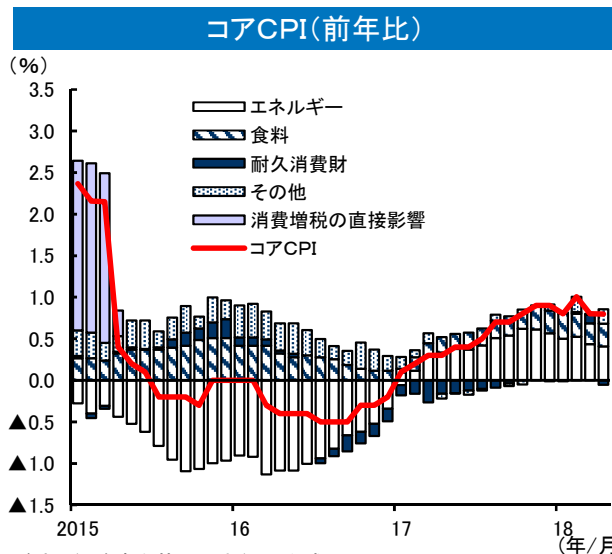
日銀は、2018年4月の金融政策決定会合で、現状の金融政策の維持を決定。10年物国債金利をゼロ%程度とする現行政策のもとで、影響・効果を見極める姿勢を継続。

政策金利については、当面、現行水準(▲0.1%)を維持する見込み。為替の大幅かつ急速な円高が進む等情勢の急変がない限り、当面は量的質的金融緩和の枠組みが維持されることに。

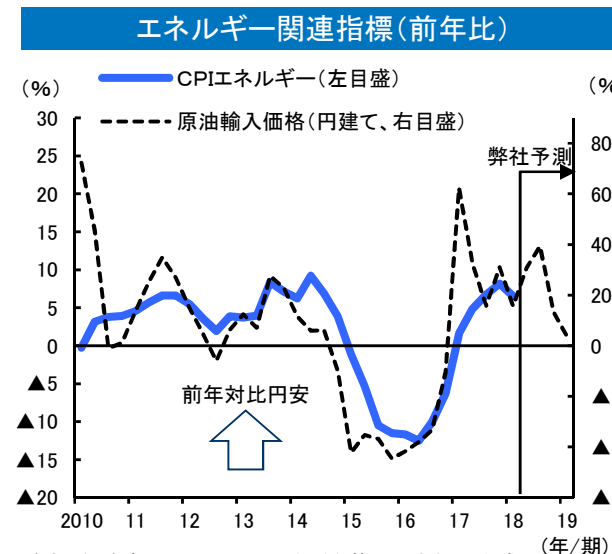
◆長期金利は概ねゼロ%程度で推移

長期金利は、日銀新体制の下でも、従来通り緩和姿勢が維持されるとの認識から、概ね横ばいで推移。もっとも、5月下旬は北朝鮮情勢や欧州政局混迷への懸念の高まりから、安全資産である国債が買われ、0.03%程度まで低下。

先行きは、米国長期金利の上昇に伴い上振れ圧力が高まるものの、日銀のイールドカーブ・コントロール政策のもと、0%近辺での推移が続く見通し。

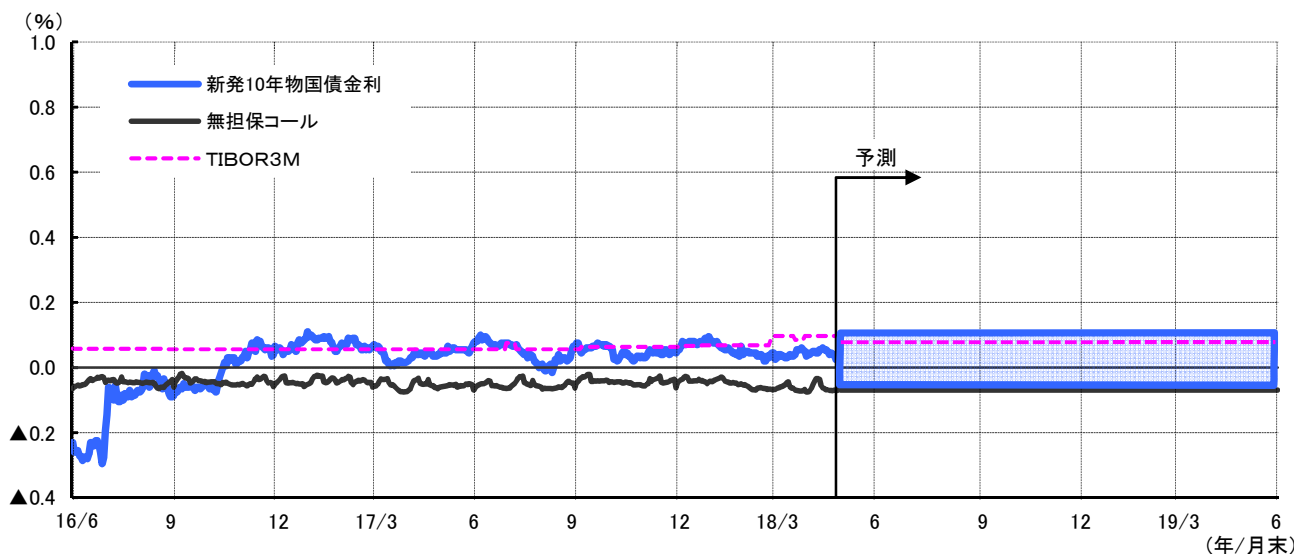


(資料)総務省を基に日本総研作成
(注)エネルギー、食料、耐久消費財などは消費税の影響を除く。



(資料)総務省、Bloomberg L.P.などを基に日本総研作成
(注)CPIエネルギーの直近は2018年1~3月期実績値。

わが国主要金利の見通し



内外市場データ (月中平均)

	短期金利	ユーロ円 (TIBOR)		円・円スワップ			国債		プライムレート		為替相場		株式相場		米国市場				欧州市場	
	無担0/N (%)	3ヵ月 (%)	6ヵ月 (%)	2年 (%)	5年 (%)	10年物 (%)	2年物 (%)	10年物 (%)	短期 (%)	長期 (%)	¥/\$ (NY終値)	¥/ユーロ (NY終値)	日経平均 株価 (円)	TOPIX (ポイント)	FF 0/N (%)	ユーロ3ヵ月 (%)	10年国債 (%)	N Y ダウ工業株 (ドル)	ユーロ3ヵ月 (%)	10年国債 (%)
14/10	0.07	0.20	0.29	0.16	0.24	0.62	0.04	0.49	1.48	1.15	108.02	136.99	15394.11	1253.99	0.09	0.23	2.29	16701.87	0.08	0.88
14/11	0.08	0.18	0.27	0.16	0.26	0.62	0.02	0.47	1.48	1.15	116.40	145.21	17179.03	1385.33	0.09	0.23	2.32	17648.98	0.08	0.79
14/12	0.09	0.18	0.27	0.14	0.22	0.54	▲ 0.01	0.38	1.48	1.12	119.44	146.99	17541.69	1411.59	0.12	0.24	2.20	17754.24	0.08	0.64
15/1	0.09	0.18	0.26	0.14	0.21	0.47	▲ 0.02	0.28	1.48	1.06	118.33	137.63	17274.40	1389.14	0.11	0.25	1.88	17542.26	0.06	0.45
15/2	0.09	0.17	0.26	0.15	0.25	0.56	0.04	0.38	1.48	1.12	118.78	134.86	18053.20	1461.08	0.11	0.26	1.98	17945.41	0.05	0.35
15/3	0.09	0.17	0.25	0.15	0.26	0.55	0.02	0.38	1.48	1.15	120.37	130.33	19197.57	1553.83	0.11	0.27	2.04	17931.74	0.03	0.26
15/4	0.08	0.17	0.25	0.15	0.24	0.52	0.01	0.33	1.48	1.15	119.52	129.29	19767.92	1590.91	0.12	0.28	1.92	17970.51	0.01	0.16
15/5	0.09	0.17	0.25	0.15	0.28	0.61	0.00	0.40	1.48	1.15	120.84	134.80	19974.19	1626.44	0.12	0.28	2.20	18124.71	▲ 0.01	0.58
15/6	0.09	0.17	0.25	0.15	0.29	0.66	0.01	0.47	1.48	1.15	123.68	138.96	20403.84	1652.72	0.13	0.28	2.36	17927.22	▲ 0.01	0.83
15/7	0.09	0.17	0.25	0.15	0.27	0.61	0.01	0.44	1.48	1.15	123.33	135.63	20372.58	1637.30	0.13	0.29	2.32	17795.02	▲ 0.02	0.76
15/8	0.09	0.17	0.25	0.13	0.23	0.56	0.01	0.39	1.48	1.15	123.06	137.11	19919.09	1613.59	0.14	0.32	2.16	17061.59	▲ 0.03	0.67
15/9	0.09	0.17	0.25	0.11	0.20	0.52	0.02	0.35	1.48	1.12	120.09	134.95	17944.22	1455.30	0.14	0.33	2.16	16339.95	▲ 0.04	0.68
15/10	0.09	0.17	0.25	0.11	0.19	0.49	0.01	0.32	1.48	1.10	120.16	134.81	18374.11	1506.15	0.12	0.32	2.06	17182.28	▲ 0.05	0.55
15/11	0.10	0.17	0.25	0.10	0.17	0.47	▲ 0.00	0.31	1.48	1.10	122.63	131.56	19581.77	1582.45	0.12	0.37	2.26	17723.77	▲ 0.09	0.55
15/12	0.09	0.17	0.25	0.10	0.17	0.44	▲ 0.02	0.30	1.48	1.10	121.58	132.51	19202.58	1551.34	0.24	0.53	2.23	17542.85	▲ 0.13	0.60
16/1	0.09	0.17	0.25	0.09	0.14	0.39	▲ 0.02	0.23	1.48	1.10	118.29	128.54	17302.30	1412.22	0.34	0.62	2.08	16305.25	▲ 0.15	0.51
16/2	0.04	0.11	0.18	▲ 0.12	▲ 0.09	0.18	▲ 0.19	0.02	1.48	1.03	114.67	127.31	16346.96	1324.59	0.38	0.62	1.77	16299.90	▲ 0.18	0.23
16/3	▲ 0.01	0.10	0.16	▲ 0.12	▲ 0.08	0.13	▲ 0.20	▲ 0.06	1.48	0.97	112.95	125.83	16897.34	1358.30	0.36	0.63	1.88	17302.14	▲ 0.23	0.22
16/4	▲ 0.04	0.08	0.14	▲ 0.13	▲ 0.09	0.12	▲ 0.25	▲ 0.09	1.48	0.95	109.58	124.25	16543.47	1335.67	0.37	0.63	1.80	17844.37	▲ 0.25	0.18
16/5	▲ 0.05	0.06	0.11	▲ 0.12	▲ 0.08	0.10	▲ 0.24	▲ 0.11	1.48	0.95	109.00	123.13	16612.67	1334.43	0.37	0.64	1.80	17692.32	▲ 0.26	0.16
16/6	▲ 0.04	0.06	0.11	▲ 0.14	▲ 0.13	0.01	▲ 0.26	▲ 0.15	1.48	0.95	105.46	118.55	16068.81	1288.83	0.38	0.65	1.64	17754.87	▲ 0.27	0.01
16/7	▲ 0.04	0.06	0.10	▲ 0.15	▲ 0.18	▲ 0.07	▲ 0.33	▲ 0.25	1.48	0.91	104.09	115.17	16168.32	1291.30	0.39	0.70	1.49	18341.18	▲ 0.30	▲ 0.09
16/8	▲ 0.04	0.06	0.10	▲ 0.06	▲ 0.05	0.07	▲ 0.19	▲ 0.08	1.48	0.94	101.31	113.51	16586.07	1303.93	0.40	0.81	1.56	18495.19	▲ 0.30	▲ 0.07
16/9	▲ 0.05	0.06	0.10	▲ 0.09	▲ 0.07	0.08	▲ 0.23	▲ 0.04	1.48	0.95	101.83	114.18	16737.04	1334.42	0.40	0.85	1.62	18267.40	▲ 0.30	▲ 0.05
16/10	▲ 0.04	0.06	0.10	▲ 0.05	▲ 0.05	0.08	▲ 0.26	▲ 0.06	1.48	0.95	103.85	114.48	17044.51	1360.45	0.40	0.88	1.75	18184.55	▲ 0.31	0.04
16/11	▲ 0.04	0.06	0.10	0.00	0.03	0.14	▲ 0.20	▲ 0.01	1.48	0.95	108.63	117.09	17689.54	1409.47	0.41	0.91	2.15	18697.33	▲ 0.31	0.24
16/12	▲ 0.04	0.06	0.10	0.04	0.09	0.24	▲ 0.18	0.06	1.48	0.95	116.12	122.35	19066.03	1522.68	0.54	0.98	2.49	19712.42	▲ 0.32	0.29
17/1	▲ 0.05	0.06	0.10	0.03	0.08	0.23	▲ 0.22	0.06	1.48	0.95	114.92	122.17	19194.06	1534.42	0.65	1.03	2.43	19908.15	▲ 0.33	0.35
17/2	▲ 0.04	0.06	0.10	0.05	0.11	0.28	▲ 0.23	0.09	1.48	0.95	112.99	120.23	19188.73	1537.60	0.66	1.04	2.42	20424.14	▲ 0.33	0.32
17/3	▲ 0.04	0.06	0.10	0.05	0.10	0.26	▲ 0.26	0.07	1.48	0.95	112.92	120.67	19340.18	1552.10	0.79	1.13	2.48	20823.06	▲ 0.33	0.39
17/4	▲ 0.05	0.06	0.10	0.04	0.07	0.23	▲ 0.21	0.03	1.48	0.95	110.04	117.93	18736.39	1494.81	0.90	1.16	2.29	20684.69	▲ 0.33	0.25
17/5	▲ 0.05	0.06	0.10	0.04	0.08	0.24	▲ 0.17	0.04	1.48	0.95	112.24	124.09	19726.76	1571.62	0.91	1.19	2.30	20936.81	▲ 0.33	0.38
17/6	▲ 0.05	0.06	0.10	0.04	0.10	0.24	▲ 0.12	0.06	1.48	0.95	110.97	124.70	20045.63	1603.77	1.04	1.26	2.18	21317.80	▲ 0.33	0.29
17/7	▲ 0.05	0.06	0.10	0.05	0.12	0.27	▲ 0.11	0.08	1.48	0.99	112.38	129.59	20044.86	1620.17	1.15	1.31	2.31	21581.25	▲ 0.33	0.54
17/8	▲ 0.05	0.06	0.10	0.03	0.08	0.23	▲ 0.12	0.05	1.48	1.00	109.84	129.81	19670.17	1612.95	1.16	1.31	2.20	21914.08	▲ 0.33	0.42
17/9	▲ 0.06	0.06	0.10	0.02	0.08	0.22	▲ 0.13	0.03	1.48	1.00	110.81	131.93	19924.40	1638.79	1.15	1.32	2.20	22173.41	▲ 0.33	0.41
17/10	▲ 0.04	0.06	0.09	0.04	0.11	0.26	▲ 0.14	0.07	1.48	1.00	112.93	132.75	21267.49	1721.72	1.15	1.36	2.36	23036.24	▲ 0.33	0.43
17/11	▲ 0.05	0.06	0.09	0.03	0.10	0.25	▲ 0.18	0.04	1.48	1.00	112.82	132.48	22525.15	1783.26	1.16	1.43	2.35	23557.93	▲ 0.33	0.36
17/12	▲ 0.04	0.06	0.10	0.04	0.10	0.26	▲ 0.15	0.05	1.48	1.00	112.93	133.68	22769.89	1809.61	1.30	1.60	2.41	24545.38	▲ 0.33	0.35
18/1	▲ 0.04	0.07	0.12	0.05	0.12	0.28	▲ 0.13	0.08	1.48	1.00	110.97	135.28	23712.21	1882.57	1.41	1.73	2.57	25804.02	▲ 0.33	0.55
18/2	▲ 0.04	0.07	0.12	0.05	0.12	0.29	▲ 0.15	0.07	1.48	1.00	107.86	133.14	21991.68	1766.57	1.42	1.87	2.86	24981.55	▲ 0.33	0.72
18/3	▲ 0.06	0.07	0.12	0.05	0.10	0.26	▲ 0.15	0.05	1.48	1.00	106.10	130.87	21395.51	1716.27	1.51	2.17	2.84	24582.17	▲ 0.33	0.59
18/4	▲ 0.06	0.09	0.12	0.05	0.11	0.26	▲ 0.14	0.05	1.48	1.00	107.62	132.08	21868.79	1737.42	1.69	2.35	2.87	24304.21	▲ 0.33	0.55
18/5	▲ 0.06	0.10	0.13	0.05	0.11	0.27	▲ 0.13	0.05	1.48	1.00	109.71	129.59	22590.05	1783.96	1.70	2.34	2.98	24572.53	▲ 0.33	0.52